

日銀レポート……さいたま経済探訪

166

少子高齢化が進むわが国において、高齢者が生き生きと生活していくことが非常に重要です。そのためには健康上の問題で日常生活に影響がない状態で生活できる期間を延ばすこと、すなわち平均寿命のみならず、「健康寿命」を延ばすことが重要になります。

■埼玉は全国上位
厚生労働省が簡易生命表などの統計調査を用いて試算している健康寿命の推移を見ると、直近の2022年の推計値は新型コロナウイルス感染症の影響などから

清水 雅之 日本銀行調査統計局 日調査主幹・埼玉県経済総括

健康寿命の重要性

県においても健康寿命の延伸を寿につながる取り組みを県全体に重要な課題と位置付けており、県政の基本計画である「埼玉県5か年計画（22～26年度）」の中で、生涯を通じて健康の確保の施策目標として健康寿命延伸の目標値を

県においても健康寿命の延伸を寿につながる取り組みを県全体に重要な課題と位置付けており、県政の基本計画である「埼玉県5か年計画（22～26年度）」の中で、生涯を通じて健康の確保の施策目標として健康寿命延伸の目標値を



しみず・まさゆき 1965年生まれ。東京大学経済学部卒。88年日本銀行入行。政策委員会企画課長、調査統計局企画課長、内閣府政策企画調査官（統計委員会担当室、国民経済計算部）などを経て、2016年4月より現職。

るほか、製商品販売の増加も期待できるとしています。さらには人口減少の中で深刻化が懸念される労働力不足の緩和にも寄与すると思われます。足元の人手不足に対しては、女性と高齢者の労働市場への参入が緩和に寄与していますが、高齢者がより健康になれば働くことができる高齢者の増加が期待できます。実際、

人口減少・少子高齢化の流れが当面は続く中で、健康寿命の延伸は少子化対策よりも短期間での効果が期待できる課題であり、非常に重要だと思います。今後、人口に占める高齢者の割合が高まる中で、健康な高齢者の増加を通じて、活気がある社会・経済が実現することが期待されます。